

【施策評価調査】

施策名	2-1-3	こころの健康づくり		85	施策目的 こころの悩みを相談します。 自分にあった趣味や生きがいをもち、ストレスを解消します。 子どもが家庭で安全で安心して過ごせるようにします。 ・遊びの教室や親子運動教室を開催し、気軽に相談しやすい体制を作っていくことと、高齢者に対しては生きがいづくりを支援していく。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	住民生活部健康福祉課	担当 リーダー	健康づくり 荻原敏子		
環境変化	いじめ対策や、虐待防止が重要である。				施策内容 こころの健康に関する正しい知識の普及に努めるとともに、専門職によるこころの健康相談を充実させ、こころの病気への早期対処を促します。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：年間相談件数(件)	H16年度実績	計画	100件	120件	140件	180件	200件
	70件	実績	106件	102件	73件		
指標：育児中の母親がストレスを感じる割合(%)	H16年度実績	計画	19.0%	18.0%	17.0%	16.0%	15.0%
	20.6%	実績	22.10%	23.00%	23.60%		
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	392,600	683,000	1,289,000		
決算	392,025	666,484	1,054,967			

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
こころの健康づくり推進事業費	当初 1,289,000	心理相談件数	A	育児不安やこころの悩みを相談したい人たちへ相談する場の提供ができた。また、自らストレスを解消できる場の提供もできた。			
	決算 1,054,967	73件 / 140件		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

施策事後評価 20年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	<p>■ 総合評価 ■</p> 今般の社会情勢を考えると、相談件数が増えもおかしくない状況の中で、件数が減少することがどういふことなのか検証した上で、後期計画に向け、県やNPOの動向を見ながら、町としてすべきことを見極め、役割分担をした上で施策展開を検討すること。	身体の不調を感じる母親の割合が4割を超え、育児ストレスを抱えていることがうかがわれる。母親の頑張りや苦労が、必要であり、ストレスを抱えたまま引きこもるのではなく、教室等母同士の交流の場を設けることで、母親が楽しいと感じ、「育児」を楽しみやすいと思えるように支援していく。自殺者が増え自殺防止対策が急がれているところである。自殺の原因で多くを占めるのが、精神的な疾患を持っていることなので、早期に適切な相談や医療で対応することにより、自殺者の減少を図る。矢板健康福祉センターを中心に広域的に取り組む体制を整えていく。